

ふれあい市長室

最大の被災地「南三陸町」への救援物資

南あわじ市長 中田勝久

天災は忘れた頃にやってくるという諺がありますが、最近の自然災害は立て続けに発生しております。3月11日に発生した東日本大震災は、歴史上最大級のマグニチュード9.0の大震災でありました。

宮城県南三陸町に対し、兵庫県から職員派遣の要請があり、現在も継続して市職員2人の派遣を行っております。私も4月26日から28日まで南三陸町へのお見舞いと派遣職員への激励、更にJAあわじ島・淡路島酪農にご協力をいただき救



▲南三陸町の避難所で救援物資を手渡す中田市長

援物資（レタス2千個・ヨーグルト・プリン5千個）を届けてまいりました。ありがとうございます。

南三陸町の中心地へ入ると、海まで「がれき」一面の光景であり、津波の恐ろしさに只々、ア然とするばかりでした。早速佐藤町長・遠藤副町長にお会いし、お見舞いとお見舞いを申し上げます。私たちが阪神・淡路大震災を経験した事や、今後、30年以内60〜70%の確率で発生が予想されている東南海・南海地震の事も申し上げ、佐藤町長より今回の大地震での種々の教訓をご指導いただきました。



▲佐藤町長(右)と遠藤副町長(中央)、中田市長(左)

南三陸町は、何回となく大地震や津波を経験した歴史があります。そのため最近「防災対策

庁舎」を建設し災害に備えていたところですが、なんとその3階建の庁舎が津波で鉄骨の骨組だけの無残な姿で残っておりまして。2階で市民への避難の防災放送を最後まで続けていた町職員の遠藤さん



▲南三陸町の防災対策庁舎

を始め、三十数人の職員の方も尊い命を奪われました。町長自身も3階の鉄骨の手すりにしがみつきの助かったとのこと。町長は、「津波への対応は、津波警報・注意報が発表されたら、まず高台に逃げる。そ



▲被災状況を目に焼きつけ、肌で感じる中田市長

のためには、日頃から絶えず地震発生時を想定した実践訓練を行い、避難路や避難場所など、自分自身の頭と身体に十分覚え込ませておくこと。」とご教授いただきました。

今回の南三陸町への訪問により、現地の悲惨な状況や町長の教訓等を踏まえ、まず早急に避難路整備の計画等の検証や見直しについて、地域の皆様と協議を深めてまいります。国・県の地震や津波に対する新しい指針は1〜2年は先になると思われますので、南あわじ市においては、緊急性のあるもの、対応可能な事柄から進めたい所存です。市民の皆様方の積極的なご支援・ご協力を改めてお願い申し上げます。

功労者表彰

兵庫県功労者表彰

県政の推進や地域活動、公共の福祉や産業振興などに功労のあつた方々に「兵庫県功労者表彰」が贈られます。2011年、南あわじ市では5人の方が県功労者として表彰されました。

(順不同、敬称略)

〔自治功労〕

北村 利夫さん (福良)

市議会議員として20年にわたり、卓越した識見とたゆまぬ郷土愛をもって、住民福祉の向上、まちの活性化に貢献されています。特に旧南淡町時代には4年間、議長を務め、議会の機能強化と住民に開かれた議会づくり尽力。南あわじ市議会でも1年間、議長を務め、豊かな経験と沉着冷静な判断力で円滑な議会運営を図りました。

〔地域活動功労〕

山野 高さん (倭文)

市の人権教育研究協議会副会長として、差別のない安心・安全なまちの実現に向けて大きく貢献されています。学習会や研修会などを通して人権教育・啓発の献身的な実践活動を続けられています。多様化した差別をなくす運動の先頭にたつて「継続が解消への道」と精力的に人権課題の解決に取り組まれています。

〔福祉功労〕

山野 恵男さん (八木)

兵庫県老人福祉事業協会副会長として12年間就任。介護保険推進委員会の委員長として制度導入に際しての検討や入所契約書の兵庫県版の作成等、利用者施設とのモデル事業に携わり、また制度の適正執行に寄与するなど、利用者の環境づくりや制度の整備、人材育成に尽力されて高齢者福祉全般に大きく貢献されました。

〔福祉功労〕

鎌田 方碩さん (広田)

児童養護施設「淡路学園」施設長として児童福祉に大きく貢献されています。県社会福祉事業団での福祉全般に精通する実務と民生児童委員や保護司など、多岐にわたる要職での活動経験と見識をもって、入所児童の健全育成に努められ、子どもたちの心身の健やかな育成と自立を培う児童福祉に尽力されています。

〔農林水産功労〕

倉本 満之さん (松帆)

あわじ島農業協同組合の代表理事組合長として地元農業の生産力維持と基盤整備を進めています。「淡路島たまねぎ」のブランド化を推し進め、商標取得にも大きく寄与。販路拡大と地産地消の食育活動も展開されるほか、省力化機械の導入補助やISO認証を短期間で取得するなど、地域農業発展に尽力されています。

100歳の誕生日を祝福

市では平成23年度から、100歳の誕生日を迎えられた人へ、中田市長直筆のお祝い色紙を贈呈しています。市では、これまで9月に行われ



▲色紙を受け取る中村よ志エさん(左)と郷部長(右)

る敬老会の式典でもお祝い状を贈っています。

今年度、1人目となる中村よ志エさん(湊)の誕生日にあわせて、郷直也健康福祉部長と担当職員が訪問し、色紙を手渡ししました。色紙には「寿山福海」と書かれており、これからも幸福で長生きしていただければという気持ちで込められています。中村さんは「100歳まで生きれることはありがたいです。元気の秘訣は、気持ちを強く持つことです」と元気に話していました。

義援金

ご寄附ありがとうございました。

市と社会福祉協議会では、東日本大震災の被災地復興支援のため義援金を受け付けています。

義援金総額※5月19日現在

- ①個人・団体 294件 1742万3497円
- ②義援金箱 146件 464万2628円

社会福祉協議会
44・3007

ふるさと南あわじ応援寄附金

区分	件数	金額
南あわじ市内	393件	53,361,719円
市外(島内)	52件	7,201,000円
市外(島外)	235件	28,864,940円
合計	680件	89,427,659円

詳細は市のホームページに掲載しています